令和3年度　高生中学校通信
NO、4号

輝　け　！　　高　生　中

文責　校長　和田義則

令和4年度　高生中学校　文化発表会　開催

～文化発表会で学んだこと「合唱に心を込める、心を一つにする。自分の生き方を考える。」～

　高生中学校の文化発表会は、学年合唱と全校合唱を取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染防止のために昨年は合唱ができませんでした。しかし、今年は緊急事態宣言も解除されたため、感染防止対策をとりながら合唱の取組を再開しました。マスクをしながらですが、久しぶりに学校内に合唱の響きが聞こえ、「やっと合唱が戻ってきた。」とうれしく思いました。
　歌には、人の心を感動させる、心を元気にする、心を温かくする力があります。
　どの学年も「最高の合唱をしよう。」と高い目標を掲げ、何度も何度も練習を繰り返して、素晴らしい学年合唱ができました。１年生は元気のいい合唱、２年生はハーモニーが美しい合唱、そして３年生は最上級らしい迫力のある素晴らしい合唱を披露してくれました。
　また、合唱以外の取組として、生徒が自分自身について(将来の夢や、名前の由来、感動したこと等）クラスで発表しました。
　３年生は、立志式を１・２年生の前で行いました。立志式とは、子どもが数え年で15歳になったことを祝う、主に中学校で開催される式のことです。大人になるための自覚を深め、将来への具体的な目標を持たせるために、将来に関する決意を表明するものです。
　立志式では、３年生が自分の好きな一文字を見せて、その意味と、これからどんな生き方をするのかを胸を張って語りました。受験生らしく、「前進や進歩」の「進」等、卒業後への夢や希望を語る先輩の姿に、１・２年生もこれからの中学校生活を考えたと思います。
　最後に土曜日の保護者公開日には、お忙しい中来校していただいた保護者の皆様、受付や感染防止のための検温や消毒をして下さったPTA役員・委員の皆様、本当にありがとうございました。

第３学年　生徒感想

３年間の行事を通して、私たちの学年は満足にできないことも多くあり制限がかかる中でも、最大限に自分たちの力を発揮することができました。私たちが自分らしく楽しく歌うことができたのは、放課後残って練習の準備をしてくれたパートリーダーのおかげです。そして、先生方が「歌うこと」を当たり前に戻して下さり、最高の舞台にすることができました。今回の文化発表会で改めて人に支えられていることを感じ、自分も支えられた分、人を支えられる人になりたいと思いました。

　文化発表会を通して「成長」できました。目に見える変化はありませんが、自分にとっての挑戦が多くありました。それを達成したという経験が、今後生きてくると思います。自分が感じたことや考えたことを誰かに表現する、訴える、簡単なことではありませんが、どんな小さなことでも挑戦する気持ちを持ち続けたいです。

　１・２年生の合唱を聴いて、一人一人の全力の声が一つになると聴く人の心を奮い立たせる力をもつと気づかされました。また、想いを届ける側には、協力したからこそ分かち合える達成感と感動があると思いました。

　立志式では、自分のこれからの決意を掲げることができて、本格的に受験と向き合っていかなければいけない今からの時期を、自分に打ち勝ってのりこえるぞと改めて思うことができました。

第１学年　生徒感想

　立志式で３年生の発表が、自分の将来に向けて真剣に向き合っている姿がかっこいいなと思いました。３年生全員の将来の夢が、かなってほしいなと思いました。

２年生の合唱を聴いて、女子が圧倒的に少ないのになぜよく声が聞こえるのか不思議に思った。ソプラノとあるとテノール全部が重なって、体育大会とは違う美しい、きれいなハーモニーが頭にずっと残って離れませんでした。

第２学年　生徒感想

　僕たちは今回初めて合唱をしました。最初はパートに分かれているのになかなかハーモニーにならなかったり、声が小さかったり、歌詞をあまり覚えていなかった人もいました。しかし本番に向けて、１日１回の練習を真剣にしていき、今日の文化発表会でとても良い合唱ができたと思いました。今回人は失敗して成長するのだと学びました。最初から完璧な人はいないので、僕たちは失敗して成長したと思います。中学校生活もこれから大変なことがあると思うので、失敗して成長して立派な中学生になりたいと思いました。

　中学校初めての合唱で、音が合わなかったりしてとても難しかったです。でも練習をして少しずつ上手になって本番では緊張しましたが、９９％の力を出して歌えたと思うので良かったです。でも３年生の合唱の方が、アルトとソプラノ、テノールがいい感じに合わさっていて、迫力があってびっくりしました。３年生を聴いて、自分たちはまだまだで、来年は今年の３年生を超える合唱をしたいと思いました。